

事業所名	児童発達支援事業所つくべた門司	※事業所情報は概要に記載	作成日：令和7年1月27日
法人（事業所）理念	私たちは、ひとりひとりの持つ色（特性や気質）に寄り添い、生活や遊びの中で成長を促す支援を提供していきます。 また、地域社会との連携を深め、共に成長し、共に生きる社会の実現を目指します。		
支援方針	つくべた門司では「小学校での生活力」を育てるため①基本的な生活習慣を身につける②自己表現する力を育てる③身体を育てる④学ぶ力を育てる⑤「出来た」「やってみたい」を育てる⑥社会のルールを身につけるこの6つの育ちをサポートします。 また、①職員全員で子どもの気持ちや思い、身体の状態を一生懸命に理解する②安心・安全な環境を提供する③面白い・やってみたいを大切に④充実した職員が療育を実施することで、子どもたちの最高の笑顔を引き出していきます。		
営業時間	8時30分～15時30分 ※サービス提供時間は9時～15時迄	送迎実施の有無	あり なし（門司区、その他は要相談）
支援プログラム			
健康状態 <健康・生活> ・来所時、送迎時には保護者や園の先生から本日の様子を毎回確認しています。 ・来所後に検温、視診で健康チェックを行います。			
心身機能・構造 <運動・感覚> ・活動内でスライムや粘土、スイングやボルダリング、水遊びやボディペインティング等、感覚運動遊びの実施をしています。 ・遊びの中で、理学療法士、作業療法士が中心となって、身体の使い方や遊びの提案などを多職種と連携を図りながら実施しています。 活動 <認知・行動> ・個別課題時間や活動の中で、はさみやのり、鉛筆や食具の動作練習、使用方法の指導等を実施しています。 ・個別課題時間に、小学校へ向けて、一人で課題に取り組む時間も設定しています。集中して取り組めるよう、環境調整を実施したり、一人で課題遂行ができるよう、構造化しておく等の支援を実施しています。 ・トイレ、更衣、食事動作など生活動作を習得できるよう支援を実施しています。 <言語・コミュニケーション> ・個別課題時間に言語聴覚士が中心となり、言語発達を促していけるよう支援しています。 ・PECSの研修を受講したスタッフが中心となり、対象となりえる子どもに対して支援を実施しています。 ・遊びや生活の中で、手伝ってカードやくだけカードを使用し言葉や絵カード、ジェスチャー等、子どもに合わせたコミュニケーション手段の獲得を促す支援をしています。 参加 <人間関係・社会性> ・個別課題時間やお集まりなどの小集団を使って、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を行っています。 ・絵カードや劇を使ったロールプレイで、解決方法を職員と一緒にみつめていき実際の場面でも行動できるように支援していきます。 個人因子 <体験・経験（行事等）> ・散歩、スイング、水遊び、かき氷作り等 ・七夕、ハロウィン、クリスマス、節分、卒業式等、季節の行事も活動内で実施しています。 環境因子 <家族支援> ・保護者相談（随時） ・保護者参観日の開催 ・保護者交流会の開催 ・毎月おたより配布 ・モニタリング会議 <移行支援> ・園や就学先に利用児の特性やつくべた門司での支援方法等をまとめ、情報提供を行っています。 <地域支援・連携> ・地域交流会の開催 ・地域の行事への参加 ・掲示板へのチラシの掲示 ・避難訓練の実施 <職員の質の向上> ・職員研修（1回/1～2か月） ・管理者研修			